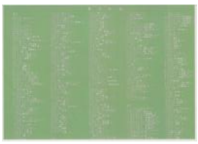
夏休み前に子どもに語る読み聞かせシナリオ

～「もう一回読みたくなるように」「旅行に行きたくなるように」読み聞かせる～

1　本は閉じひざにおき、子どもたちを笑顔で見る。	*（ワークスペースのような子どもたちが座って聞けるような場所で、子どもたちに語りかけるように先生も椅子にこしかけて話を始める）*夏休み、どこかに行く計画がある人？*（挙手した子をあて、聞く）*すてきだねえ。お隣さんに、行くところ、行ってみたいところ、前行ったことがあるところを言ってみてごらん。ない人は聞くだけでいいんだよ。
2　表紙を見せる。 	じゃじゃーん。今日は、この絵本を読みます。神様と女の子*（表紙の神様と女の子を指さしながら）*はどこへ行くのかな？　よおーく見てくださいね。 *（題名をはっきりと読む）*日本の川　あらかわ・すみだがわ *（作者名も読む）*村松昭　さく
3　表紙をめくり地図を見せる。 	*（絵本はすべてのページを見せるようにする。表紙、表紙の裏、そして、白いページ、題名が書いてあるページ。いろいろなところにしかけがあるのでしっかり見せる）*
4　題名のページを見せる。 	*（黙って見せるだけでよい。ここに描かれている家族とカヌーをする人が最後のページに出てくるので絵本を読んだ後、話題にできる。もう一度）*日本の川　あらかわ・すみだがわ　村松昭さく
5　１ページ目を見せる。 	*（状況設定場面なので、場所名*「埼玉県秩父の山奥」*、時*「さわやかな朝」*をしっかり読む）* *（子どもたちが口々に言うことをいちいちとりあげない。うなずいたり、その子の方を見たりするだけでよい）* 「オオカミっていまはいないの？」「さて、どうかのう」*（と質問の文を読むと、子どもたちは、「いるー」「いないよ」などと答える子がいるが、黙って、ページをめくる）*
6　小さい字も読む。 	*（見開き２ページに１こ、必ず解説があるのでそこも読む）* *（子どもたちと川の流れる方向を指で確認する）* さあ、左上から川が流れて、右下に流れるよ。電車の道も一緒の方向だね。

７　読み進めていく。 	*（ゴールの海のページまで、同じように読み進めていく。子どもから話が出たら指で押さえたり、川をなぞったりしながら、子どもの発見に驚いたり、「そうなんだー」と返事をしたりする。川だけでなく、市・町の名前、電車、道路の名前、観光地、動物、植物、開発しているところや下流になるにつれての変化などが描かれているので、「先生、あれなあに？」などと気づいて聞いてきたら「よく気が付いたねえ」と書いてある小さな字を読んでやる。）*
８　ゴールの海のページ 	*（お話の最後の場面。「東京ビッグサイト」や「ゆりかもめ」「お台場」が見えるので、子どもたちも興奮して口々に「行った！」「見たことがある！」などと話が弾む。そこで、教師も）*先生、ここの「東京ビッグサイト」に毎年夏に行っているんだよ。でも、こんなふうに川がなっていたなんて知らなかった。今年もまた行くから、川をしっかり見てみようっと。楽しみだなあ*（と経験を交えながら語る。）*
９　お話のないページを見せる。 	*（子どもたちから「あ！この家族！！最初にいたーー！」「カヌー持った人もいたーー」と家族やカヌーの人を見つける子どもが出てくるので）*本当？本当にいた？*（と言いながら最初のページを開く）「いたー」「本当だ」「すごい！！歩いてきたんかなあ？先生、もう一回最初から！！！家族がどこにおるか見たいーーー」と声があがるので）*それは、また、自分で調べてくださいね。*（と、じらす）*
１０　裏表紙の「さくいん」を見せる。 	見て！　この絵本に出てきた場所や観光地がすべてここに書かれていますので、あなたたちが行きたいところや行くところ、見てみたいところやテレビで聞いたことがあるところをまたもう一回探してみてくださいね。
１１　本の表紙を広げて見せる。 	*（この絵本は、表紙を広げて見せても何もないが、表紙が続いているものもあるので最後は広げて見せるといい）*この絵本は、シリーズがあって、『たまがわ』『よどがわ』『ちくまがわ・しなのがわ』などがあります。図書館や本屋さんで探して読んでもいいですね。広島の川『太田川』はありません。夏休みに、あなたたちが調べて作ってもいいかもしれないね。*（と言って終わる。子どもたちが何も言わないのに、口々に感想を言ったり、行ってみたいところを言ったりするので話す時間をとる）*